



1学期のまとめの時期

【校長 太田 謙二】

6月中旬に梅雨入りが発表されてから逆に晴天の日が続き、平年よりも大幅に早く、統計開始以来最短の約2週間で、近畿地方が梅雨明けとなりました。連日30度を超える厳しい暑さとなっています。早いもので、今日から7月。1学期も残り2週間余りとなりました。保護者の皆様には先月の授業参観に、お忙しい中ご出席いただき、誠にありがとうございました。子供たちのがんばっている姿を見てもらうことができよかったです。

さて、今年は、先月の20日にプール開きを行うことができました。それまでに、5年生と6年生がとてもきれいにプール掃除をしてくれたおかげです。学校みんなのために、がんばってくれている姿がとてもうれしかったです。これからもいい伝統をつないでいって欲しいと思います。



水泳の学習は、水の中で浮く・泳ぐ感覚や「〇〇m泳げた。」「〇〇秒で泳げた。」など、達成感を味わうことができる貴重な運動です。また、水の事故を防ぐための大事な学習です。プール開きの日の朝、全校児童に、「水深が浅いところでもおぼれること」「飛び込んだり走ったりせずルールを守ること」「体調面を整えること」「水泳許可証や持ち物をすべてそろえること」など、水泳の学習をするにあたっての注意事項を私から放送で話をしました。安全で楽しい水泳の学習にして欲しいです。



新型コロナウイルスの感染については、減少傾向にあったのがここ最近はやや増加している状況で、なかなか収まる気配がありません。感染症はもちろん気になりますが、今はそれ以上に熱中症が気になります。「体育や外遊び、登下校は、マスクを外しましょう!」と指導しています。また、水分補給も大変重要です。様々なことに気をつけながら、教育活動を進めていきたいと考えます。

これから、1学期のまとめの時期です。子供たちが、いい形で締めくくることができるよう、しっかりと指導してまいります。保護者の皆様、地域の皆様、何卒、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。